本格的な舞台演劇を堪能（10月28日）

北海道舞台塾ふらの実行委員会の主催による、富良野塾ＯＢユニット巡回公演がみなくるで行われました。ＯＢユニットの皆さんによる公演は今年で7回目となり、今回は「インディアン・サマー」という作品が上演され、男女の心の内に秘めた思いがめぐるストーリーに来場された皆さん（111名）は、楽しく舞台に引き込まれていました。

平成22年度富良野地区町村民生委員児童委員研修会（11月4日）

富良野沿線4町村の民生・児童委員研修会がみなくるで開催され76名が参加しました。

バンクーバー五輪のパラリンピック日本代表で「アイススレッジホッケー」で銀メダルを獲得した永瀬充さんを講師に「可能性―たくさんの人に支えられて」と題し、地域の方々の協力や支えの大切さなどについて講演されました。

文化協会芸能発表会（11月3日）

町文化協会の主催による芸能発表会がみなくるで行われ、各加盟団体に所属する皆さんが、日頃の活動の成果として、歌や舞踊・ダンスなどを披露され大きな拍手を浴びていました。

最後は恒例の紅白の餅まきが行われ、詰めかけた町民の皆さんと一体になって一昨年に続く開催と成功を喜び合っていました。

湖底に眠る集落を懐かしむ（11月10日）

金山ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会（平塚麻利子代表）の主催により、かなやま湖の底に消えた鹿越や伊勢団体の集落の様子などを語る「かなやま湖・昔の話」が役場大会議室を会場に行われました。会場には集落の出身者など約50名が参加し、スライドに写される当時の様子にタイムスリップし、集落出身の語り部の皆さんのお話しに聞きっていました。

○語り部
佐々木 薫さん
多田　敏さん
五日市 義治さん

南富中で武道始まる（11月12日）

本年度より南富良野中学校（生徒79名）では中学校学習指導要領改訂に伴い、武道の授業として空手が取り入れられ、本年度は6回各2時間行われます。授業は全学年が対象で、学校体育館を使用。指導には幾寅で空手道場「南風塾」を開いている田口桂治塾長があたり、礼儀作法を重んじた指導と基本的な型の練習が行われました。

楽しいプレゼント届く（11月11日）

特別養護老人ホーム一味園でお菓子やドリンクなどを提供する活動を行っているボランティアサークルアネモネの会（池部美喜子代表）より、これまでの活動の収益金を活用し、入所者のリハビリや癒しのいぬや猫、ジグソーパズルやカルタなど21点の玩具を同施設に寄贈されました。入所者を代表し、関アイ子さんが「みんなで楽しく使わせていただきます」と謝辞が述べられました。

地元のおいしい食材を使って挑戦！！親子スープカレー教室（11月13日）

町商工会が主催する親子スープカレー教室が南富良野高等学校で開催され、参加した町内親子17組35名がシカ肉と地元でとれた玉ねぎや人参、ジャガイモを使ったスープカレー作りに挑戦しました。

参加した皆さんは、講師を務めたＣＭでお馴染みの井出剛さんから指導を受け、6班に分かれて、野菜を切ったり炒めたり。途中、玉ねぎに涙を流しながら格闘する子どもたちも。親子の力で出来上がったスープカレーは格別で皆さんほぼ完食しました。

カーリングに挑戦（11月13日、14日）

町教育委員会などが主催する町民カーリング教室が2日間に渡って、空知川スポーツリンクスで行われ、町内の小学生とその保護者など延べ45名が参加しました。

ＮＰＯ法人どんころ野外学校の目黒義重代表ほか金村萌絵さんら同スタッフが講師を務め、氷上での動き方やストーンの投げ方などの基本動作、得点の数え方などの基礎知識について教わった後、ミニゲームを行いカーリングを楽しみました。

なお、本事業には、富良野地区社会教育ネットワーク事業のカーリング教室として、占冠村から2名が参加して、町内の参加者とともにカーリングを学びました。

シリーズ 学校だより㊺

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野高等学校 ▶▶▶

学校・見学説明会

9月7日（火）、今年度の本校の「見学・説明会」を実施しました。

当日は、富良野沿線各中学校から64名の中学3年生の参加がありました。内容は、体育館で教員から学校紹介・説明をした後、実際に高校の授業を見学し、また体育館に戻って今度は本校生徒による学校行事等の紹介をしました。

中学生からは「色々な体験や資格が取得できる学校でいいと思いました」などと感想が寄せられました。

また、午後7時からは南富良野中学校の保護者の方を対象とした「南富良野高校を知る会」も開催しました。

4泊5日の見学旅行

10月30日（土）から11月3日（水）の期間で2年生16名が見学旅行に行ってきました。

旅程は、初日に大阪城見学、二日目は人と防災未来センターを見学し、班ごとの自主研修、三日目はバスで奈良・京都のお寺を巡り、四日目に東京ディズニーランド、そして最終日に都内見学をするというものでした。

人と防災未来センターでは、生徒達が一歳の時に起きた阪神大震災の被害を再現ビデオで見てから、実際に体験した方のお話を聞いて防災への意識を高めました。